



森林ふれあい情報

平成26年12月

第33号

中部森林管理局木曾森林ふれあい推進センター
〒397-0001 長野県木曾郡木曾町福島1250-7
TEL:0264(22)2122 FAX:0264(21)3151
E-mail:kiso-fureai@rinya.maff.go.jp

森林ボランティア・NPO連携推進会議

10月3日（金）・4日（土）の2日間、下諏訪町において、「森林ボランティア・NPO連携推進会議」と関連イベント「森・ふれあいフェスタ」（連携推進会議実行委員会主催）を開催しました。

この会議は、中部森林管理局管内で活動する森林ボランティア団体やNPO法人との交流促進及び情報交換や相互研鑽を行うことでボランティア団体等の更なる資質の向上を図るとともに、広く一般市民に対し、国民参加の森林づくりへの理解や、森林環境教育の重要性をPRすることを目的に開催したもので、20団体と局署の職員、併せて総勢76名が参加しました。

1日目は、参加団体の見識を広げるための講習会として、諏訪大社下社秋宮において、諏訪湖博物館館長による建造物の構造や歴史の説明、京都の社寺等屋根工事技術保存会による檜皮葺屋根の説明に聞き入りました。また、境内では下諏訪町木遣保存会による「木遣り唄」披露にみんなで「ヨイサーヨイサー」のかけ声を合わせました。諏訪大社下社の伝統文化に触れた有意義な1日目となりました。



下社秋宮での説明



檜皮葺（ひわだぶき）の説明



木遣り唄に合わせ両手を挙げて「ヨイサーヨイサー」



木落とし坂にて

2日目のイベント「森・ふれあいフェスタ」は、下諏訪町諏訪湖畔にある「みずべ公園」で開催しました。

晴天ではありませんでしたが親子で訪れる方が多く、延べ800名が来場し、15のブース（竹とんぼ作り、竹笛作り、丸太切りと木工細工、ドブスアート、かんなくずプール、薪割り体験、など）で体験を楽しんだり感心したりしていました。今回初のブースとなる「ひのき箸作り」「バウムクーヘン作り」では待ち時間が出来るほどの盛況ぶりでした。また、下諏訪町のキャラクター「やしまる」「万治くん」は子供達に大人気で、会場の雰囲気盛り上げてくれました。

来場者からは「来年もこの公園で開催してほしい」と、大変うれしい感想も頂きました。

今回も参加団体の情報や意見交換ができ、また、市民の方々と交流を深める事ができた2日間となりました。

この2日間を今後の活動に生かすこととし、更に皆さんと共に盛り上げていく予定です。



ひのき箸作り体験



バウムクーヘン作り



万治くん と やしまる



檜皮葺（ひわだぶき）実演



木工細工を楽しむ親子

木祖村・日進市合同育樹祭

10月18日（土）、19日（日）に、木祖村と愛知県日進市の合同育樹祭（木曽森林管理署共催）が木祖村奥木曽湖畔の「平成日進市の森林」（小木曽国有林）で行われ、両市村の職員や中学生、一般参加者ら約150名が平成10年度に植栽された箇所、10の班に分かれて除伐やつる切り等の作業に汗を流しました。

水源の森を守り、上下流域に住む人が交流する催しで今回で22回目となり、当センターからは村からの依頼で、式典出席、作業指導、ヘルメット、手ノコの貸し出しを行いました。

「木曽川を通じた交流」



木祖中 秋山聖夜 君 日進市 片桐史樹 君



開会式の様子



除伐作業



唐沢一實村長の挨拶



生徒の森林整備

開会式では、唐沢一實村長が「日進市の皆様に安全な水を送れるよう山や森づくりに一生懸命努める。」と挨拶し、「みどりの少年団」の木祖中学校3年生・秋山聖夜君と日進市の中学校3年生・片桐史樹君が木曽川を通じた交流の深まりを願う「緑の宣誓」と「緑の宣言」を發表しました。

カザグルマ自生地の整備

城山国有林の「城山史跡の森」には、長野県指定希少野生植物であるカザグルマ等の貴重な植物が自生しています。

当センターでは城山史跡の森倶楽部と連携しながら貴重な植物の保護や自生地の整備、歩道の整備等を行っています。

カザグルマは、つる性の低木で林縁部の日当たりのいい場所を好み、5月下旬から6月上旬に白や淡紫色の大きめで可憐な花を多数付けます。

11月5日（水）、カザグルマ自生地において、「城山史跡の森倶楽部」の会員の皆さんと共に、自生地に繁茂するクズを刈り払い、根株を薬剤処理する等の整備を行いました。



自生地の整備

お知らせ

旧帝室林野局木曾支局庁舎の愛称が

「御料館（ごりょうかん）」に決定

かつて木曾谷一円の御料林を管理し、林野行政の拠点であった当施設にふさわしい品格のある名称に決定しました。

木曾谷初のモダンな洋風庁舎で、往時の雰囲気味わえます。木育ルーム・会議室・調理室が無料で利用できます。

○休館日：毎週月曜日

○問い合わせ先：木曾町教育委員会

☎0264-23-2000

木曾青峰高校生のベンチ贈呈

「城山史跡の森」に置く木製ベンチ3脚を地元木曾町の木曾青峰高校森林環境科の3年生が授業で作成し、11月12日（水）、現地で贈呈式と設置作業がありました。

木曾青峰高校の演習林が城山史跡の森の一部になっていることから、同倶楽部の活動に協力しようと、2年前からベンチの寄贈を始めました。

演習林で間伐したヒノキを使用して、屋外で使用するため、座りやすさや丈夫さにも工夫したデザインに仕上げられていました。

贈呈式と設置作業は、史跡の森の見晴らしが良く休憩に適した「紅葉ヶ丘」であり、代表の生徒らが倶楽部会員に引き渡した後、設置作業に入りました。

倶楽部の会長は「観光やハイキングの人たちに眺めを楽しみながら休憩してもらえる本当にありがたい」と感謝を述べられ、生徒の代表は、「城山を訪れた人がベンチで足を休め、けがなく安全にハイキングしてほしい。」と願っていました。



会員にベンチを贈る生徒たち



ベンチを設置する生徒たち

「城山史跡の森」小鳥の巣箱掛け及びササユリ生育地整備

11月12日（水）、城山史跡の森倶楽部では、活動拠点である「城山史跡の森」において、小鳥の巣箱掛け作業とササユリ生育地整備を実施しました。「城山史跡の森」は、木曾町の背景林で、山城城址跡もあり、木曾ヒノキを初め天然サワラ、ウラジロモミ、コメツガなどの天然木が多く生育する森林で、遊歩道も整備され、地域の方々の森林散策や、ハイキングで訪れる人も多い場所です。

作業は、城山史跡の森倶楽部のほかボランティアの皆さんなど、総勢16名が参加して実施されました。

小鳥の巣箱掛けについては平成21年度から毎年実施しており、当森林に多く棲むシジュウカラなどの小型鳥類を対象に巣箱を作成しています。当センターでは、4名が参加し作業に協力しました。

以前設置して古くなった巣箱38箱を取り外し、今年度地元の方が丹念に作成した新しい巣箱30箱を新たに設置しました。

取り外した巣箱の幾つかには営巣や利用した形跡があり、来年の繁殖期にこの森で多くの小鳥たちに巣箱を利用してもらえるよう、掛ける場所や高さ、日向きを考慮して作業を行いました。



新しい巣箱と参加者



巣箱設置作業

ササユリは、長野県のレッドデータブックに準絶滅危惧種に指定されています。ここに自生するササユリを当センターでは、同倶楽部と協力し、保護増殖活動に努めてきているところです。

今回は、生育地の保全と増殖を目的として、生育地へ踏み込まないためのグリーンロープの再設置や雑灌木の除去及び林床の掻起こし、種子の採り蒔き作業を実施しました。



本年6月の開花ササユリ



グリーンロープ張り



増殖を期待しての種子蒔き